



ばらばらで一緒

～美香保中だより～

発行 札幌市立美香保中学校

住所 東区北17条東6丁目1-1

電話 (011)-711-8151

真の『先輩』が創り出す美中のブレイクスルー

校長 伊達 峰史

本日、3学期の始業式では、全校生徒に向けて、校長から次のことをお話しました。

皆さん、おはようございます！——おかえりなさい。

2026年になりました。今年をどんな一年にしたいか、「漢字一字」を考えてみましたか？言葉は魂をもっているので、発することで現実になると言われています。校長室はいつでもオープンにしています。ぜひ、あなたの「漢字一字」を教えに来てほしいです。

今日から始まる3学期は、この1年間の「仕上げ」の時期です。特に3年生にとっては義務教育9年間の集大成となる重要な期間です。1学期の始業式で私は「新入生にとって、2年生は‘頼りになる先輩’、3年生は‘あこがれの先輩’であってほしい」と伝えました。そのために「楽しみ上手」な姿を後輩に示してほしいとも言いました。どうですか？‘頼りになる先輩’になれましたか？‘あこがれの先輩’になれましたか？その答えはまだ出でていません。「仕上げ」がまだ残っています。

この3学期は次年度に向けた「準備」の期間もあります。1年生は後輩を迎えて‘頼りになる先輩’になる準備を、2年生は‘あこがれの最上級生’になる準備を、そして3年生は自分の未来に向かって力強く羽ばたく準備をしてください。

さて、12月に行った全校ごちゃまぜ道徳では、学級も学年も超えて「伝統とは何か。」を語り合いました。「形は変わっても思いは変わらない。」「先輩たちの思いを大切に次に伝える。」といった皆さんの言葉に私は深く感動しました。

ここで私の大学時代の話をします。当時の空手部には「後輩は先輩が通り過ぎるまで90度のお辞儀を続ける」「汗で濡れた先輩の道着を後輩がたたむ」など、理不尽な伝統がありました。挨拶はお互いにするものです。自分の道着は自分でたためばいいのです。私は最上級生になった時、後輩も含めた部員みんなで話し合って、これらの全てを廃止しました。

伝統とは単にこれまでの形式を守ることではありません。良い伝統は磨き、筋の通らないものや誰かを苦しめる伝統は壊していく勇気をもつべきです。何を残し、何を新しく創るか。それを判断し、バトンを磨き上げる力が、先輩である、先輩となる皆さんにはあるのです。

第77期生徒会は「ブレイクスルー」というスローガンを掲げています。ブレイクスルーとは、目の前の障壁を新しい方法や考え方で突破することです。一見「伝統を受け継ぐこと」と「ブレイクスルー」は反対のように思えるかもしれません。しかし伝統は先輩たちが積み重ねてきた「成功と失敗の記録」であり、皆さんの足元にある揺るぎない土台です。真のブレイクスルーはこの強固な土台があってこそ成し遂げられます。伝統から学び、その上で新しい方法を試す。このサイクルが美香保中をさらに輝かせる原動力になります。

美中ボックスによる異学年交流の充実は、まさにその象徴です。皆さんの声が生徒会を動かし、新しい種目による美中オリンピックや全校ごちゃまぜ道徳を生み出しました。既存の枠を自分たちの意志で塗り替えていく行動こそ真のブレイクスルーです。

3年生の皆さん、後輩に残したいバトンを最後まで行動で示してください。1・2年生の皆さん、先輩から受け継ぎ自分たちらしい形に磨いていってください。‘頼りになる先輩’‘あこがれの先輩’であるかどうかを決めるのは後輩です。後輩は先輩であるあなたをよく見ています。

この3学期、皆さんのが「楽しみ上手」な姿を貫き、美香保中学校の歴史に最高に熱い1ページを刻むことを期待しています。さあ、「仕上げ」と「準備」を始めましょう！

生徒作文

3学期の心構え

2年

冬休みが明け、今日から3学期が始まりました。寒さの厳しい時期ではありますが、こうして皆さんとそろって新しい学期を迎えることができ、大変うれしく思います。

私は、3学期は1年間のしめくくりであり、同時に次の学年へ向けて準備を整える大切な時期だと思っています。そのため、私は、1・2学期の自分の行動を振り返り、3年生になったとき、自分が好きなだけ挑戦できるようにするために、目標を立てました。

その一つが「実用英語技能県検定準二級の取得」です。英語の力を身に付けるということは、将来の選択肢を広げるだけでなく、普段の学習や私生活にも良い影響を与えると感じています。また、私は過去、アメリカに二度訪れ、アメリカ人の友人もできました。英語を話せるようになると彼らだけでなく、更に多くの人と交流することができ、自分の中の世界や可能性が広がると感じました。そして、何かに挑戦するとき、最も大切なのは「継続する力」だと私は思います。毎日続いていると、自分の成長を感じることができ、やりがいを感じます。3学期は短い期間ではありますが、だからこそ集中・努力し、確かな成果を残せる学期にしたいと思います。

そして、3学期は学習面だけでなく、学校生活・私生活全体を見直すことも大切だと思います。進級をする前に、今の自分と向き合うとともに友達同士で支え合い、クラスや学年の雰囲気をより良いものにしていきたいです。3学期が、私たち全員にとって成長の機会となるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

『冬季美中オリンピック』

保体常任委員長

12月3日、4日の2日間、保体委員会では、昼休みを利用して3学年合同で「美中オリンピック」を開催しました。学年や学級関係なく、4チームに分かれて、「障害物リレー」「玉入れ」の2種目で点数を競い合いました。今年度も、健康増進を目標とする子どもの主体性を尊重した活動を支援する「インセンティブ・ファンド“プラスのまほう”健康づくりやる気基金」推進校として、この基金を活用して玉入れのカゴなどを購入しました。

玉入れは小学校でやったことのある人が多いですが、中学生になってやってみると、思ったよりカゴに玉が入らず難しかったです。障害物リレーでは、各部活で使っているラケットやボールを用いてドリブルやぐるぐるバットをするなど、今までの障害物リレーとは違う新しい競技になるよう工夫しました。

今回の冬季美中オリンピックでも、選手はもちろん、応援もたくさん集まり、学年の壁をこえた交流ができました。皆さんご参加ありがとうございました。

77期生徒会では、これからも「ブレイクスルー」という活動目標を胸に、異学年交流ができる企画を考えていきます。



みかほっ子応援団

みかほっ子応援団へ案内されている今後の予定を御紹介します。

▷『第3回地域防災フォーラム』in 北光小学校
〔日時〕2026年2月17日(火)13:15-15:00
〔場所〕北光小学校体育館

▷『北光小6年生 私が描く、私の未来』
〔日時〕2026年1月27日(火)13:15-14:45

※お問合せは北光小学校まで
(721-0377)

2026年も“みかほっ子”的に力を貸していただければ幸いで
す。よろしくお願ひいたします。



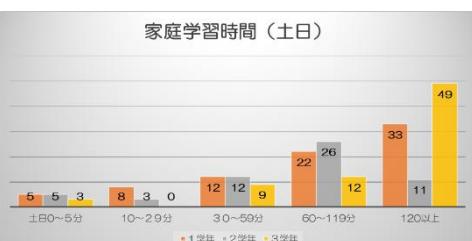
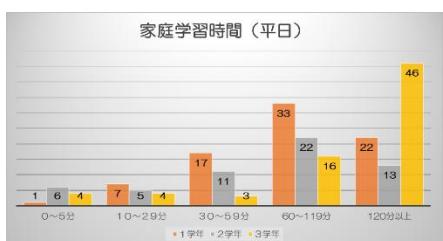
令和7年度 美香保中学校「学習と生活に関するアンケート」

全校集計分析(2学期)より

本校では、「学習と生活に関するアンケート」を1学期と2学期に実施しております。1学期のアンケートの分析結果は、以前お知らせしておりますが、今回は「家庭における時間の使い方」及び、「8年間の家庭学習の状況の推移をお知らせいたします。

1. 家庭における時間の使い方

①家庭学習時間について



1学期と比較すると、1年生は平日・土日ともに平均時間が10分程度減少傾向にあります。2年生はどちらも大きな変化はありません。3年生は進路に向けての意識の高まりからか、平日で平均30分程度、土日で1時間程度、長くなっています。

②SNS・インターネット・動画視聴に関する時間

1学年

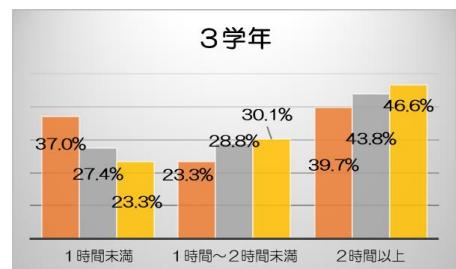
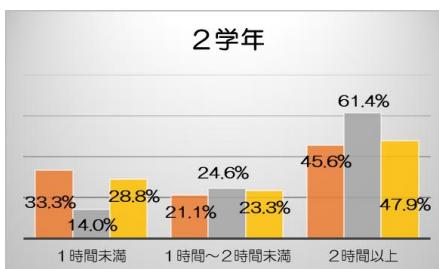
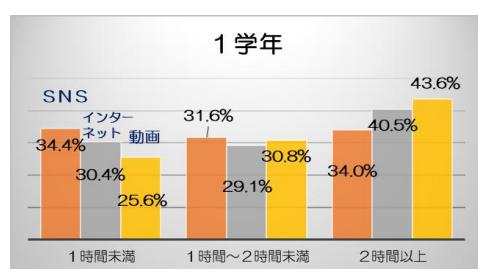
家庭の時間	SNS	インター	動画視聴
1時間未満	34.4%	30.4%	25.6%
1時間～2時間未満	31.6%	29.1%	30.8%
2時間以上	34.0%	40.5%	43.6%

2学年

家庭の時間	SNS	インター	動画視聴
1時間未満	33.3%	14.0%	28.8%
1時間～2時間未満	21.1%	24.6%	23.3%
2時間以上	45.6%	61.4%	47.9%

3学年

家庭の時間	SNS	インター	動画視聴
1時間未満	37.0%	27.4%	23.3%
1時間～2時間未満	23.3%	28.8%	30.1%
2時間以上	39.7%	43.8%	46.6%



2. 2学期家庭学習時間8年間の推移



・1年生…平均時間が平日・土日ともに最も多く時間が確保されている一方で、学習時間が平日・土日ともに30分以内の割合は3年間の中でも最も多くなっています。意欲的に努力を積み重ねる生徒が多い一方で、取組が十分ではない生徒も多く、その格差が次第に大きくなっています。

・2年生…1年生から引き続き平均時間が平日・土日ともにやや低い傾向となっています。3年間の中では、平日・土日ともに120分以上取り組む生徒の割合も低く、一方、30分以内の割合は高くなっています。

・3年生…平日・土日ともに120分以上取り組む生徒の割合は昨年度に比べ高くなっています。一方平日・土日ともに30分以内の割合は3年間の中では高くなっています。3年生の中でも取組の格差が見られます。